



TITLE:

京大広報 No. 240

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

---

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 240. 京大広報 1982, 240: 269-276

ISSUE DATE:

1982-10-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209446>

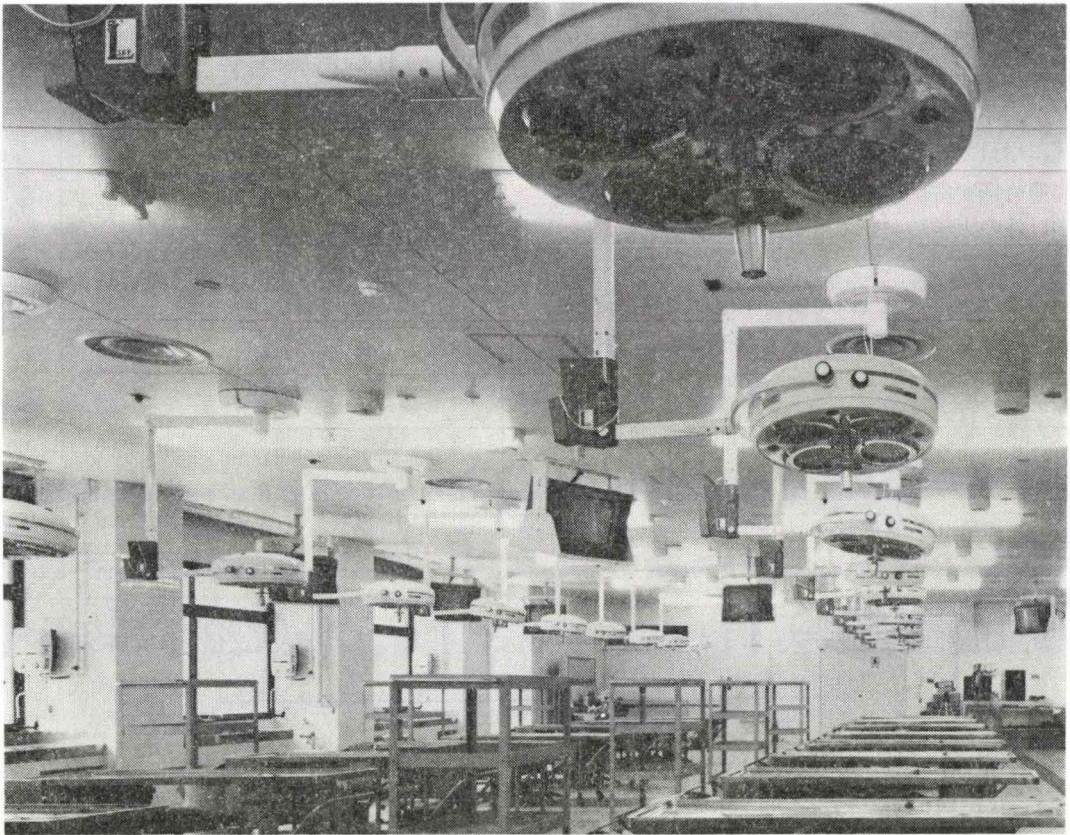
RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.

# 京大広報

No. 240

京都大学広報委員会



医学部・総合解剖センター 系統解剖実習室—関連記事本文 272 ページ—

## 目 次

日本語・日本文化研修留学生の受入れ…………… 270

北白川スポーツ会館の設置…………… 270

### <随 想>

京大総合体育館と京大会館建設の思い出

名誉教授 満田久輝…………… 271

### <紹 介>

医学部・総合解剖センター…………… 272

計 報…………… 273

### <資 料>

昭和56年度歳入・歳出決算書

及び予備的経費配分実績…………… 274



## ＜大学の動き＞

## 日本語・日本文化研修留学生の受入れ

本学では、本年10月から「日本語・日本文化研修留学生制度」に基づく留学生を受け入れることとなった。

この制度は、世界の大学において、日本語・日本文化を学習している者（学部第3年次以上に在学する者）を、1年以内の期間、我が国の国費で留学させ、主として、日本語能力及び日本事情・日本文化の理解の向上のために研修させるものである。昭和54年度から、東京外国語大学において、日本語能力の向上のための研修が実施されてきたが、昭和56年度から、留学生の受入れ人員が大幅に増員されるとともに、主に日本事情・日本文化の研修を希望する者については、東京外国語大学以外の大学においても研修できることとなった。

本学では、この制度による留学生は国際交流委員会で検討した結果、国際交流の一環として受入れることになった。これにともない「外国人留学生日本語・日本文化研修実施委員会」が設けられ、カリキュラムの編成等受入れの準備が進められてきた。

本年度には9か国12名の留学生が関係学部の聴講生として受入れられ、経済学部特別講義室において研修を受ける予定である。

なお、研修の概要は次のとおりである。

## 日本語・日本文化に関する授業科目と授業時間数

	授 業 科 目	授 業 時 間 数		
		第一期 10～3月	第二期 4～9月	計
日 本 語	聴解・口頭表現	時間 30	時間 30	時間 60
	日本語講読	30	30	60
	文章表現	30	30	60
	小 計	90	90	180
日 本 事 情	日本事情(A)	30	26	56
	(ア) 日本の社会に関する概説	(10)		(10)
	(イ) 日本の法政に関する概説	(10)		(10)
	(ウ) 日本の経済に関する概説	(10)		(10)
	(エ) 各分野の諸問題		(26)	(26)
	日本事情(B)	50	44	94
	(ア) 日本文学	(20)	(22)	(42)
	(イ) 日本文化・歴史(風土を含む)	(30)	(22)	(52)
	小 計	80	70	150
特 別 教 育	現代産業及び現代文化に関する参観・研修等	60		60
	伝統産業及び伝統文化に関する見学等		60	60
	特別講義		30	30
	小 計	60	90	150
合 計		230	250	480

(外国人留学生日本語・日  
本文化研修実施委員会)

## 北白川スポーツ会館の設置

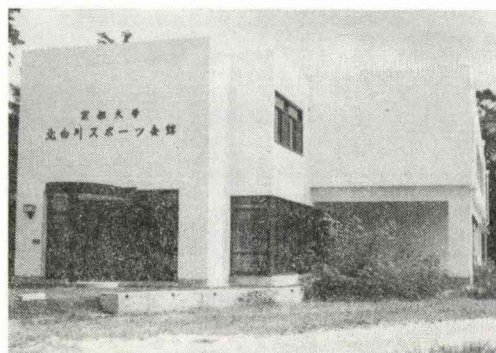
本学には、農学部グラウンド内に課外体育活動のための合宿研修施設が設置されていたが、狭隘であるうえ老朽化が進んでいることから、数年前から新しい建物の建設が強く望まれてきた。

このたび関係者の努力により同グラウンド東北側の一面に、新しい合宿研修施設、北白川スポーツ会館（鉄筋コンクリート造2階建、建物面積延971㎡）が設置され、10月から利用できることとなり（事務は学生部厚生課）、本学における課外体育活動の一層の振興が期待される。

なお、開所式は、9月16日（木）午後5時から同会館ミーティングルームにおいて、総長、学生

部長、歴代体育会会長、教職員、学生等関係者約80名の出席のもとに盛況に行なわれた。

(学生部)







遺族待合室、霊安室等についても特別に細心の配慮がなされており、御遺体の尊厳、御遺族に対する礼節の面から遺漏のないよう特別に留意し、社会一般の解剖についての認識と信頼を高めることが出来るよう配慮されている。

そしてこの解剖センターの完成を機に、正常解剖学や病理解剖学の教育研究のために安心して進んで献体しようとなされる方や献体に同意して下さる御遺族がふえ、医学の教育研究がさらに一段と充実・向上することが期待される。

(2) 本学部には明治32年医科大学として開学以来各種の貴重な肉眼標本、手術剔出標本あるいは骨格標本等が極めて多数収集されているが、それらは基礎医学、臨床医学の各教室に散在して保存されている。これらの保存標本は非常に貴重な医学的教材でありながら、十分に活用されてはいないという実情があった。これらの標本の中には、現在、我が国ではほとんど消滅してしまふことの出来ない、例えば、ペスト、コレラ、腸チフス、梅毒、日本住血吸虫症、脚気、クル病、天然痘等に関するものも含まれている。このような標本を一堂に集め、よりよい環境の下で、十分な手入れを加えて維持し、教育研究のために十分活用することも、本センターの目的の一つである。

(3) 本センターのいま一つの目的は、近代的な視聴覚教育設備を完備させることである。

肉眼解剖実習室、組織実習室、討議室等にはビデオは勿論種々の教材提示用器械に連動した最近のテレビ装置、あるいは顕微鏡テレビ装置が設置され、近代的教育技法による教育が可能になった。さらに視聴覚学習のセンターとなるものとして、他に比類のない視聴覚学習室がある。この視聴覚学習室は各臓器毎の区画に分割され、臓器別に、正常、病理ならびに法医学的資料を整理供覧して、学習

ができるように企画されている。液浸肉眼標本の供覧は、各臓器毎の区画に必要なビデオ装置、カセットテープ連動式解説つきスライド供覧装置、ステレオスライドビューアー、等がソフトウェアと共に常備されているので、学生、大学院学生あるいは若い医学者が個人学習用のイヤホーンを用い、視聴覚用教材を駆使して、自由に各自のペースで学習しうる場となっている。

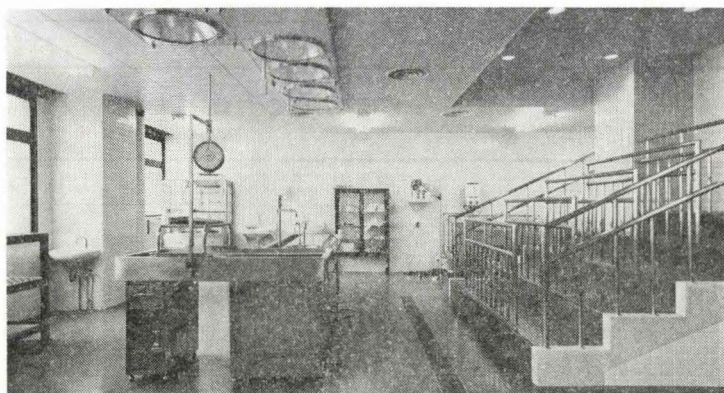
視聴覚学習室は正規の授業時間のみならず時間外でも、常に活用できるように計画され若い学徒の自学自習を可能にし、勉学に対する自主性の養成の上からも大きく貢献するものと期待される。

今後さらに総合解剖センターの設備、教育資料、標本等の充実に努力し、一方、本センターの円滑な運営により、医学部における形態学系の教育研究が一層充実進展し、医学の進歩発展に大きく貢献することを切に希望して止まない。

本学部総合解剖センターの企画、設計、建築、内部の充実等、完成に至るすべての過程において、一方ならぬ尽力をたまわった各位に深甚の謝意を表す次第である。

なお、医学部附属総合解剖センターの開所式は、本年10月9日に行なわれ、本格的な活動が開始される予定である。

(医学部)



法 医 解 剖 室

#### 計 報

山内得立 (本学名誉教授・文学博士)

9月19日逝去、92歳。本学文科大学卒。昭和6年本学

文学部教授就任、同28年退官。昭和40年勲二等旭日重光章受章。昭和49年文化功労者に選ばれる。専門は哲学。



## 〈資料〉

## 昭和56年度歳入・歳出決算書及び予備の経費配分実績

## 昭和56年度 歳 入 決 算 書

文部省所管国立学校特別会計

款 項 目	歳 入 予 算 額	収 納 済 歳 入 額	差 引 増 △ 減 額
	円	円	円
附 属 病 院 収 入			
附 属 病 院 収 入			
附 属 病 院 収 入	9,541,191,000	9,738,197,899	197,006,899
授業料及入学検定料			
授業料及入学検定料	2,669,835,000	2,517,855,000	△ 151,980,000
授 業 料	2,183,650,000	2,050,476,000	△ 133,174,000
入 学 料 及 検 定 料	485,412,000	466,648,500	△ 18,763,500
講 習 料	773,000	730,500	△ 42,500
学校財産処分収入			
学校財産処分収入			
学校財産処分収入	4,159,000	6,859,113	2,700,113
雑 収 入			
雑 収 入	1,231,925,000	1,249,217,777	17,292,777
学 校 財 産 貸 付 料	18,299,000	22,919,316	4,620,316
公務員宿舍貸付料	34,717,000	37,468,278	2,751,278
版權及特許権等収入	1,105,000	1,554,310	449,310
寄 宿 料	718,000	381,100	△ 336,900
入 場 料 等 収 入	22,233,000	15,304,410	△ 6,928,590
用途指定寄付金受入	697,478,000	697,435,030	△ 42,970
受託調査試験等収入	287,910,000	291,284,850	3,374,850
弁 償 及 違 約 金	0	76,251	76,251
農場及演習林収入	52,855,000	56,591,032	3,736,032
刊行物等売払代	10,859,000	11,789,737	930,737
不用物品売払代	16,296,000	18,564,998	2,268,998
労働保険料被保険者負担金	362,000	1,013,753	651,753
雑 収 入	89,093,000	94,834,712	5,741,712
合 計	13,447,110,000	13,512,129,789	65,019,789

## 昭和56年度 歳 出 決 算 書

文部省所管国立学校特別会計

項 目	歳 出 予 算 額	支 出 済 歳 出 額	不 用 額
	円	円	円
国 立 学 校	30,330,323,000	30,324,503,821	5,819,179
職 員 基 本 給	12,014,929,000	12,013,680,488	1,248,512
職 員 諸 手 当	5,211,459,000	5,210,689,125	769,875
超 過 勤 務 手 当	359,593,000	359,592,993	7
非 常 勤 職 員 手 当	215,160,000	213,232,330	1,927,670
休 職 者 給 与	85,645,000	85,606,505	38,495
国際機関等派遣職員給与	9,193,000	9,192,952	48
公務災害補償費	30,373,000	30,372,913	87
退 職 手 当	1,908,068,000	1,908,064,495	3,505
児 童 手 当	5,179,000	5,050,000	129,000
諸 謝 金	46,897,000	46,658,870	238,130
受託研究謝金	1,164,000	1,164,000	0

項 目	歳 出 予 算 額	支 出 済 歳 出 額	不 用 額
	円	円	円
外国人教師等給与	81,379,000	80,914,526	464,474
海外派遣留学生給与	4,685,000	4,685,000	0
職 員 旅 費	214,880,000	214,879,931	69
受託研究旅費	22,088,000	22,088,000	0
赴任旅費	28,291,000	28,290,677	323
外国旅費	13,361,000	13,361,000	0
在外研究員旅費	85,749,000	85,737,783	11,217
講師等旅費	38,267,000	38,267,000	0
海外派遣留学生旅費	2,348,000	2,213,900	134,100
外国人教師等招へい 及 帰 国 旅 費	8,319,000	8,214,343	104,657
校 費	8,029,018,000	8,029,018,000	0
受託研究費	192,081,000	192,081,000	0
受託研究員費	18,821,000	18,821,000	0
土地建物借料	33,891,000	33,637,246	253,754
電子計算機等借料	844,503,000	844,060,064	442,936
招へい外国人滞在費	378,000	377,600	400
各 所 修 繕	91,233,000	91,233,000	0
自動車重量税	2,690,000	2,681,900	8,100
奨学交付金	697,478,000	697,435,030	42,970
演習林所在市町村 交 付 金	4,021,000	4,021,000	0
国有資産所在市町村 交 付 金	13,415,000	13,414,180	820
交 際 費	361,000	361,000	0
賠償償還及払戻金	15,406,000	15,405,970	30
大学附属病院	12,946,805,000	12,942,536,157	4,268,843
職 員 基 本 給	3,165,340,000	3,165,112,421	227,579
職 員 諸 手 当	1,639,707,000	1,639,233,768	473,232
超過勤務手当	442,794,000	442,793,966	34
非常勤職員手当	487,306,000	487,303,845	2,155
育児休業給	695,000	694,763	237
児 童 手 当	704,000	704,000	0
諸 謝 金	398,000	398,000	0
職 員 旅 費	13,913,000	13,913,000	0
校 費	1,930,102,000	1,930,102,000	0
受託研修費	831,000	831,000	0
医 療 費	3,916,843,000	3,916,843,000	0
医療機器整備費	430,424,000	430,424,000	0
学用患者費	339,092,000	339,092,000	0
電子計算機等借料	155,280,000	155,280,000	0
患者食糧費	423,253,000	419,688,194	3,564,806
自動車重量税	123,000	122,200	800
研 究 所	9,378,957,000	9,376,820,757	2,136,243
職 員 基 本 給	3,526,800,000	3,526,210,463	589,537
職 員 諸 手 当	1,522,702,000	1,521,252,224	1,449,776
超過勤務手当	197,880,000	197,879,742	258
非常勤職員手当	7,342,000	7,341,450	550
児 童 手 当	2,415,000	2,414,500	500



項 目	歳 出 予 算 額	支 出 済 歳 出 額	不 用 額
諸 謝 金	22,587,000	22,586,710	290
外国人教師等給与	29,496,000	29,495,226	774
職 員 旅 費	91,341,000	91,340,965	35
受託研究旅費	3,343,000	3,343,000	0
外 国 旅 費	5,322,000	5,322,000	0
研究員等旅費	117,158,000	117,157,910	90
外国人教師等招へい 及 帰 国 旅 費	4,712,000	4,711,794	206
校 費	3,657,062,000	3,657,062,000	0
受託研究費	27,576,000	27,576,000	0
土地建物借料	35,447,000	35,446,873	127
電子計算機等借料	126,408,000	126,396,000	12,000
自動車重量税	1,366,000	1,283,900	82,100
	(注)		(注)
施設整備費	(777,740,000) 5,671,967,000	5,993,566,700	(456,140,000) 300
設計監理謝金	32,535,000	32,535,000	0
	(390,000)		
施設施工旅費	10,656,000	11,046,000	0
施設施工庁費	6,152,000	6,152,000	0
	(777,350,000)		(354,140,000)
施設整備費	5,435,555,000	5,858,765,000	0
不動産購入費	177,969,000	75,968,700	(102,000,000) 300
施設災害復旧費	9,100,000	9,100,000	0
合 計	(777,740,000) 58,328,052,000	58,637,427,435	(456,140,000) 12,224,565

(注)：歳出予算額欄及び不用額欄の上段（ ）書は、それぞれ前年度からの繰越額，翌年度への繰越額を示し外数である。

### 昭和56年度 予 備 的 経 費 配 分 実 績

#### (職員旅費)

区 分	金 額	区 分	金 額
	千円		千円
1. 予 算 額	18,488	(2) 特 別 事 業 旅 費	961
2. 部局長会議決定による配分額	18,488	(3) 入 学 試 験 経 費	740
(1) 会 議 出 席 旅 費	541	(4) 各 部 局 へ の 補 足	16,246

#### (校 費)

区 分	金 額	区 分	金 額
	千円		千円
1. 予 算 額	247,272	課 外 活 動 費	1,520
2. 部局長会議決定による配分額	247,272	学生懇話室紀要刊行費	500
(1) 教 育 研 究 経 費	118,119	(3) 入 学 試 験 経 費	
教育研究用図書整備	12,776	入学試験経費補足	4,759
教育研究用事業費	56,999	(4) 本 部 運 営 費	20,473
教育研究用施設整備	37,105	(5) 管 理 運 営 費	84,561
大学院学生研究条件改善費	11,239	庁舎等管理運営費	52,751
(2) 厚 生 補 導 費	19,360	施設等整備	31,810
課外活動施設等整備	17,340		